

学園だより

ハイライト:

- 23回生絶好調！大学入試速報
- 体力づくりの強歩大会を行いました。
- 第26期生徒会総会が開かれました。
- 鳥インフルエンザについて

生徒総会が行われました。 生徒会顧問 河野智治	1
平成23年度大学合格速報	2
大学出願の全国的傾向について 進路指導主任 三浦準一	3
第1回強歩大会を行う 体育科主任 野村哲也	4
第26期生徒会総会議案書	5
1~2月 部活動の報告 カウンセリングルームより	6
生徒指導部より指導主任楠田克彦 保健室より 養護教諭 野村めぐみ	7
お知らせとお願い	8



生徒総会が行われました。

生徒会顧問 河野智治

2月18日(金) 7限に生徒総会が行われました。この総会を受け、これから一年間岩田生が主体的かつ組織的にどのような学校生活を送るのが話し合われます。3学期明けに書き損じ葉書等の声かけ運動がありましたが、各委員会を含む現26期生徒会全体の取り組みとしては最初の活動となりましたが、素晴らしい船出を迎えることができました。

1月の下旬から始まった準備。すべてが初めての第26期役員ですが、臆せず生徒総会への準備を進めていきました。顧問との打ち合わせで、常に一を伝えて一以上の行動をスピーディにとる姿勢に頼もしさを覚ええました。見えないところでの仲間とのチームワーク、旧役員の先輩たちの支えがあつてのことでしょう。

50分間弱という短時間の中で7つの委員会の討議を全校生徒と円滑に行うために、2月14日(月)1限に中学1年生から高校2年生の各学級にて、学級委員を中心に議案審議が行われました。この学級審議では中等部を中心にさまざまな意見・質問が生まれました。

生徒総会に至るまで、ときには意見が衝突し合い、ときには困難を抱えることもありました。しかし、役員から出る言葉にはいつも「どうしたら分かりやすい総会にできるか」、「愛される学校になるにはどんな取り組みがいいのか」という同じ思い・

目的がありました。

生徒総会当日。体育館は全校生徒で混雑しており、机出し等も通常授業後に準備しなければならない中、初仕事の生徒会役員だけでは手が回らないのでは、と思いましたが、すると、高校1年生の役員以外の生徒たちが会場設営を手伝い始めました。第26期生徒会だけでなく、25回生と一枚岩で活動している姿が光りました。

金田雅祐子さん(副生徒会長)の開会宣言後、麻生大介さん(議長)と南かれんさん(書記)の進行の下、各委員会が発表をしました。全校生徒も真剣な姿勢で取り組むことが出来ました。そして、高江シンラさん(副生徒会長)の閉会宣言を持ち、無事生徒総会は幕を閉じました。

南龍太さん(生徒会長)の言葉「生徒総会は、みんなから生徒役員へ質問できる一つの場です。学級審議では多くの意見・質問を頂きました。総会が終わっても、まだまだ皆さんの質問がこれから出てくると思いますが、1つ1つ解決していき、皆さんが納得できれば、と思っています。」

今期、執行委員会が掲げるテーマは『愛される岩田生』。総目標は『より過ごしやすい学園へ』。シンプルなもの故に目標は高いですが、この総会を立派に執り行った生徒会にはこれをスタートとして頑張ってもらいたいと思います。



2011年度合格速報 ~2月22日現在~

23回生127名

【国公立大学】

大分県立看護科学大

熊本大 (法 法)
 熊本大 (医 医)
 大分大 (医 医)
 大分大 (医 医)
 大分大 (医 医)
 大分大 (医 医)
 大分大 (医 医)
 大分大 (医 医)

【私立大学】

獨協大 (法 法律)
 獨協大 (法 法律)
 文教大 (情報 広報)
 文教大 (情報 広報)
 明海大 (歯)
 青山学院大 (教育人間 教育)
 青山学院大 (国際政経 国際)
 青山学院大 (社会情報 社会)
 青山学院大 (理工 化学生命)
 青山学院大 (理工 物理数理)
 桜美林大 (ビジネス)
 桜美林大 (ビジネス)
 学習院大 (文 日本語日本文)
 学習院大 (法 政治)
 学習院大 (法 法)
 慶應義塾大 (法 政治)
 慶應義塾大 (法 政治)
 慶應義塾大 (法 法律)
 慶應義塾大 (薬 薬)
 国際基督大 (教養 アーツサ)
 国際基督大 (教養 アーツサ)
 国際基督大 (教養 アーツサ)
 駒澤大 (文 社会)
 芝浦工業大 (工 建築)
 芝浦工業大 (工 土木工)
 上智大 (総合人間 教育)
 成蹊大 (国際文化)
 成蹊大 (文 日本文)
 成蹊大 (法 政治)
 大東文化大 (文 書道)
 中央大 (商 商業・貿易)
 中央大 (総合政策 国際政策)
 中央大 (総合政策 政策科学)
 中央大 (総合政策 政策科学)

中央大 (文 フランス語文学)
 中央大 (法 国際企業関係)
 中央大 (法 法律)
 中央大 (法 法律)
 中央大 (法 法律)
 中央大 (法 法律)
 中央大 (理工 経営システム)
 中央大 (理工 生命科)
 津田塾大 (英文)
 津田塾大 (学芸 英文)
 津田塾大 (学芸 数学)
 津田塾大 (国際関係)
 帝京大 (医 医)
 帝京大 (文 教育一初等教育)
 帝京大 (薬 薬)
 帝京大 (薬 薬)
 東京経済大 (経営)
 東京女子大 (現代教養 英文)
 東京女子大 (現代教養 国際)
 東京理科大 (経営 経営)
 東京理科大 (理 化学)
 東京理科大 (理工 情報科学)
 東京理科大 (理工 土木工)
 東京理科大 (理工 物理)
 東京理科大 (理 数理情報)
 東洋大 (経済 国際経済)
 東洋大 (国際地域 国際観光)
 日本大 (法 新聞)
 日本大 (理工 社会交通工)
 日本歯科大 (生命歯)
 法政大 (社会 メディア社会)
 法政大 (生命 環境応用化学)
 武蔵大 (経済 金融)
 明治大 (国際日本 国際日本)
 明治大 (政治経済 経済)
 明治大 (農 生命科学)
 明治大 (法 法律)
 明治大 (理工 数学)
 立教大 (文 教育)
 立教大 (文 教育)
 立教大 (文 日本文)
 立教大 (法 政治)
 早稲田大 (スポーツ科)
 早稲田大 (基幹理工)
 早稲田大 (商 商)
 早稲田大 (政治経済 経済)
 早稲田大 (政治経済 政治)

早稲田大 (先進理工 化学)
 早稲田大 (文化構想)
 早稲田大 (文化構想)
 早稲田大 (文化構想)
 早稲田大 (文化構想)
 早稲田大 (法)
 早稲田大 (法)
 早稲田大 (国際教養 国際)
 神奈川歯科大 (歯)
 フェリス女学院大 (国際交流)
 愛知学院大 (薬 医療薬)
 京都外国語大 (外国語 日本)
 同志社大 (生命医科 医工)
 同志社大 (文化情報 文化情)
 立命館大 (経営 経営)
 立命館大 (国際関係 国際)
 立命館大 (産業社会 現代)
 立命館大 (産業社会 子ども)
 立命館大 (情報理工)
 立命館大 (政策科 政策科)
 立命館大 (政策 国際インス)
 立命館大 (生命科 応用化学)
 立命館大 (生命科 生命情報)
 立命館大 (文 英米文)
 立命館大 (法 法)
 立命館大 (法 法)
 立命館大 (薬 薬)
 立命館大 (薬 薬)
 立命館大 (理工 ロボティク)
 大阪学院大 (流通科学)
 大阪芸術大 (芸術 デザイン)
 関西大 (社会 社会)
 関西大 (文 総合人文)
 関西大 (文 総合人文)
 関西大 (文 総合人文)
 関西大 (文 総合人文)
 関西外大 (外国語 スペイン)
 近畿大 (産業理工 建築デザ)
 近畿大 (産業理工 建築デザ)
 近畿大 (産業理工 建築デザ)
 関西学院大 (人間福祉 人間)
 関西学院大 (文 英米文)
 関西学院大 (文 文学言語)
 関西学院大 (文 文学言語)
 関西学院大 (法 法律)
 関西学院大 (幼児・初等教育)
 神戸学院大 (薬 薬)
 神戸薬科大 (薬 薬)

神戸薬科大 (薬 薬)
 武庫川女子大 (薬 薬)
 九州産業大 (経営 産業経営)
 九州産業大 (芸術 写真映像)
 久留米大 (法 法律)
 久留米大 (文 国際文化)
 西南女学院大 (人文 人文英)
 第一薬科大 (薬 薬)
 日本経済大 (経済 経営法)
 福岡大 (法 法律)
 福岡大 (商 経営)
 福岡大 (人文 文化)
 福岡大 (医 医)
 福岡大 (医 医)
 福岡大 (薬 薬)
 活水女子大 (健康 子ども)
 長崎国際大 (薬 薬)
 崇城大 (薬 薬)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (アジア太平洋)
 APU (国際経営)
 APU (国際経営)
 APU (国際経営)
 APU (国際経営)
 APU (国際経営)
 九州保健福祉大 (薬 薬)
 九州保健福祉大 (薬 薬)
 九州保健福祉大 (薬 薬)
 鹿児島純心女子大 (国際人間)
 沖繩大 (法経 法経)

【文部科学省管轄外の大学】

防衛大 (人文・社会)
 防衛大 (理工)
 防衛大 (理工)
 防衛大 (理工)
 防衛医科大 (医)



大学出願の全国的傾向について 進路指導主任 三浦準一

【国公立大学】

文部科学省によると、2月3日15時時点の国公立大の志願者数は、48万5961人で、昨年同時期より1万3809人(2.9%)増えていた。昨年に続き2年連続の増加となりそうだ。3年ぶりのセンター試験の平均点アップが追い風となり、さらに人気が高まったと見られる。

志願者倍率も0.1ポイントアップして4.8倍。だが内訳を見ると、国立大の志願倍率が0.1ポイント増で、公立大は0.1ポイント減。昨年は安全志向から、合格の可能性の高い地方公立大が人気になったが、今年は強気の出願で国立大を目指す受験生が増えている。

国立大は、首都圏で東京工業大が10.3%増、東京外国語大が22.3%増。その他では筑波大が11.8%増、神戸大が11.5%増、広島大が10.4%増など人気を集めている。

公立大では、大阪府立大が11.2%増のほかは、志願者が107.9%増となった三重県立看護大が目をひく。

また国立の難関大では、東京大が4年ぶりに志願者がアップ。文系の最難関の文科I類と、理系の最難関の理科III類で志願者が増えているのが特徴だ(結果として第一段階選抜のボーダーラインは、東大文科一類は705点〔昨年度は613点〕、東大理科III類は727点〔昨年度は676点〕など全ての類で大幅に上昇している)。この東京大人気で志願者が減ったのが一橋大。センター平均点アップで強気の出願となったことがうかがえる。一方で京大はほぼ横ばい。

その他、北海道大は3.9%増で、東北大は2.8%減。名古屋大は工学部で志願者が大幅に増えて全体でも7.4%増。大阪大と九州大は横ばいだった。このうち東京大、東北大、大阪大では、前期で志願者増加、後期で減少という動きが見られた。前期は強気だが、後期は安全志向になっている受験生が多いようだ。

(『大学通信』2月16日号より)

【私立大学】

強気の出願が見られる国公立大学とは対照的な動きとなっている。最難関の早慶上理(早稲田、慶應、上智、東京理科大)は、東京理科大を除いて減少。中でも早稲田大は4年連続、慶應義塾大は3年連続の志願者数減だ。上智大は新設の看護学科に注目が集まったが5.3%減だ。私立大学では国公立大と異なり安全志向が明らかだ。

首都圏でそれに次ぐ難関のMARCH(明治、青山学院、立教、中央、法政大)でもその傾向がうかがえる。昨年、志願者数が増えた立教大が7.0%減、法政大も1.8%減、明治大もセンター後期が出願受付中だが、それを除いて2.0%減となっている。

逆に、昨年志願者が減少した中央大と青山学院大は志願者数がプラスになった。MARCHでは、昨年とは逆の結果となっており、受験生がデータに基づき志望校選びをしていることが明らかだ。

一方、MARCHに次ぐ大学では、駒澤大(15.5%増)、専修大(2.6%増)で志願者増。さらに大東文化大(6.0%増)、東海大(10.8%増)、国士舘大(13.2%増)でも志願者増だ。

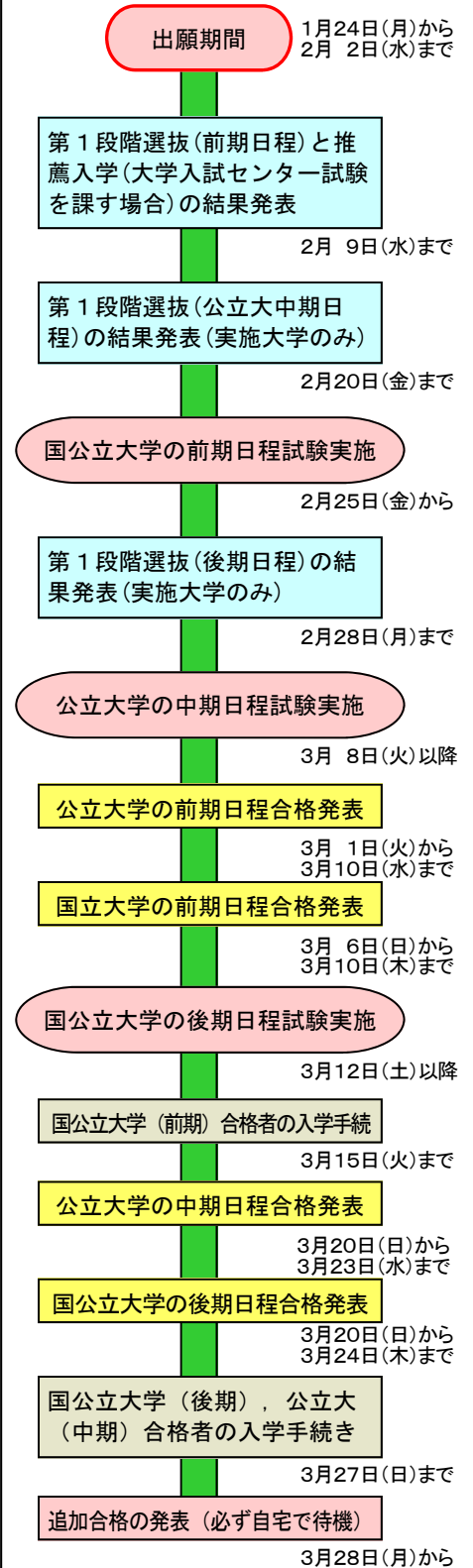
関西でも難関私大の関関同立(関西、関西学院、同志社、立命館大)では、同志社大が4.5%増となった以外は志願者減となっている。

国公立大学の受験生も不況で私立大の併願校を減らし、より確実に合格確保を目指しているようだ。不況の影響は今年の入試でも大きかったといえそう。

(『大学通信』2月9日号より)



国公立大学2次試験スケジュール





第1回強歩大会を行う。～めざせ体力づくり～

本校では今年度より、1月から2月の中旬までを「体力強化月間」とし、この期間は体育の授業を利用して、中学生は3km、高校生は3.5kmのランニングを数回実施して、体力と精神力の強化に努めてきました。そしてその集大成として、2月10日(木)に「強歩大会」を行いました。コースは大分川の河川敷を利用して、岩田の前をスタートし、明礪橋までの片道

約10kmを往復するという約20kmのコースで、生徒達は自分の体力と向き合いながら、歩いたり、走ったりしながら、全員がそれぞれのスタイルで20kmという距離にチャレンジしました。

全コースを走り抜けることでタイムに挑戦した生徒達は、2時間を切るという素晴らしい記録を残すことで「達成感」を味わっていたようですし、体力にあま

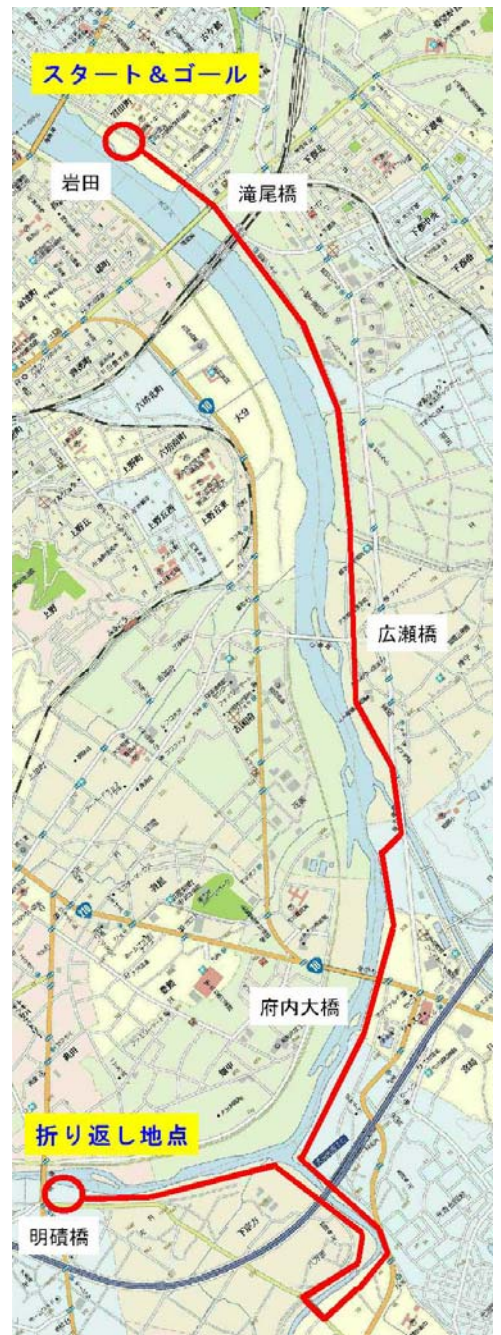
体育科主任 野村哲也

り自信が無い生徒でも、20kmという長い距離を完歩したことで、「何事もやればできる」という小さな自信に繋がったことと思います。

この「強歩大会」、今年度が初の試みでしたが、スタートした500人以上の生徒が1人の脱落者を出すこともなく、全員が20kmを制覇するというとても素晴らしい大会となりました。

男子全学年ランキング			
1位	4年2組	園田 繁之	1時間20分07秒
2位	5年1組	五所真之輔	1時間20分37秒
3位	5年1組	永嶺 哲也	1時間25分47秒
4位	5年3組	赤崎 輝	1時間26分40秒
5位	5年1組	日野 立誠	1時間27分01秒
6位	5年2組	古後誠志朗	1時間29分49秒
7位	5年3組	小宅健太郎	1時間34分33秒
7位	5年3組	直野 翔斗	1時間34分33秒
9位	1年2組	門田 優太	1時間34分46秒
9位	1年3組	澁 翔太郎	1時間34分46秒

女子全学年ランキング			
1位	4年2組	森島恵理佳	1時間43分15秒
2位	2年1組	葛城 里保	1時間48分26秒
3位	2年2組	得丸 奈央	1時間57分27秒
4位	2年1組	藤垣 葉奈	2時間02分37秒
5位	3年2組	武石伊万里	2時間02分50秒
6位	4年2組	河越 千恵	2時間07分08秒
7位	3年1組	竹林 穂香	2時間18分05秒
8位	3年1組	田吹 成美	2時間18分20秒
9位	3年2組	高山恵利佳	2時間30分33秒
9位	3年2組	吉川 麻優	2時間30分33秒
9位	3年3組	古手川愛実	2時間30分33秒



新執行部による生徒総会が行われました。

2月18日(金)の7限の時間帯に、第26期生徒会による生徒総会が実施され、中1～高2の全生徒が参加しました。11月の会長選挙を経て新生徒会が発足し、この総会で今後1年の活動について、各委員会からの議案が説明→審議→承認されました。議案書の内容については以下に掲載しております。

◇執行委員会

【生徒会長】南龍太

【副生徒会長】高江シンラ 金田雅祐子

【庶務】日永田和真 戴晨

〈総目標〉より過ごしやすい学園へ

〈キャッチフレーズ〉愛される岩田生

〈活動内容〉①学園祭の運営・A・B・Cパートに分かれて、運営をする。計画的に準備し、運営する。／②ボランティア活動・あしなが募金、書き損じはがき回収運動他／③アンケート・目安箱・委員会役員が生徒に問いかけたことをアンケート・目安箱を通して意見をとりいれていく。
(提案)①美化委員会と協力し、校内の清掃を強化し、まず校内をきれいにする。／②地域の清掃などの、ボランティア活動の幅を広げる。／③ベルマークを集めて、何か学校の役に立てるものにする。／④来年の冬には女子更衣室のマットが設置できるように、マットの洗濯や、管理などの計画を立てる。

◇美化委員会

【委員長】関 尊

【副委員長】平尾佳奈

〈総目標〉文化の中に安らぎを

〈キャッチフレーズ〉美化なう

〈活動内容〉①ゴミの分別・処理・ゴミステーションにてゴミの分別の最終チェック・ゴミの捨て方・エコキャップを分かりやすく示したポスターを掲示し、周知徹底を促すことによりゴミ全体の容量を減らす。・掃除時間にゴミステーションでの可燃とプラのゴミ箱を2つずつ設置する。／②美化コンクールの実施・毎学期に1回ずつ通常のもの、1,2学期に抜き打ちの美化コンクールを実施。／③掃除用具の点検・毎学期に1回ずつ、各掃除場所の掃除用具の点検を行い、不足分が出た際は補充を行う。／④エコキャップ運動を継続し、ペットボトルのキャップを集める。／⑤空き缶回収委員会と協力して缶のリサイクル、エコキャップ運動を徹底させる。／⑥行事前日および月に1回、校内のゴミ拾いを実施。

〈提案〉①美化コンクールで上位のクラスには賞状+α／②下位2クラスにはペナルティを設ける。／③ゴミステーションにて集めた紙コップなどの分別を行いリサイクルする。／④各手洗い場に液体の石けんを設置する。／⑤各クラスに紙ごみ用の箱を設置する。

〈更衣室について〉(問題点)・ゴミが出て汚く不衛生である。(改善点)・更衣室を使用する部活に週に1度交代で掃除してもらい、美化委員が更衣室を週に1度見回

り、掃除する。・更衣室内に可燃のゴミ箱を設置する。改善されない場合の対策・美化委員による全校および各部活への注意・更衣室の廃止を検討する。
(お願い)・トイレ、部室、更衣室を清潔に使うことを心掛けてほしい。・掃除時間の早い時間帯にゴミ捨てに来てほしい。・ゴミの分別を各クラスで心掛けてほしい。・大分市で行っている緑化運動のために落ち葉を回収しているので、落ち葉以外のゴミをゴミ袋に入れないでほしい。・ペットボトル・紙コップ・紙パック・缶が空の状態、ゴミ箱に入れてほしい。

◇文化委員会

【委員長】下川明介

【副委員長】財前明莉

〈総目標〉文化を見渡す

〈キャッチフレーズ〉Culturevolution

〈活動内容〉①映画鑑賞会を1, 2, 3学期各一回ずつ行う。／②校内・校外のボランティア活動を全校に呼びかける。／③空き缶回収委員と協力しながらボランティア清掃を行う。

〈提案〉①映画鑑賞会を中1・2と中3・高1・高2にわけて行う／②写真の展示場所:理科棟内の一階に掲載期間:約一週間

◇体育委員会

【委員長】椎葉隼太郎

【副委員長】森島恵理佳

〈総目標〉スポーツの楽しさや面白さを味わおう

〈キャッチフレーズ〉もしスポ

～もし岩田生皆がスポーツを大好きになったら～
〈活動内容〉①クラスマッチの企画／②運営体育大会の企画・運営／③授業用のピプスの洗濯 夏:1週間に1～2回 春秋冬:2週間に1回程度／④冷水機の清掃:2週間に1回の予定／⑤体育倉庫の清掃:2週間に1回の予定・ボールの空気圧の確認もする。

〈提案〉①クラスマッチの検討課題・競技が早く終わり時間が余った人へのフレンドリーマッチの検討。・クラスマッチが終わった後、全校に感想や意見を書いてもらい、良い意見を参考に次のクラスマッチに向けて改善する。・低学年や少人数クラスの参加方法を見直し、競技や時間の変更を検討する。／②目安箱での体育委員への意見の収集・目安箱に体育委員への提案や道具の補充等の意見を集める。／③体育祭への新しい取り組み／④レクリエーションの企画立案・昼休みや放課後などの時間を使い、短時間個人参加型のスポーツ大会を検討する。

◇図書委員会

【委員長】高山清一郎

【副委員長】瀬戸梨加

〈総目標〉図書館をより身近に感じてもらう。

〈キャッチフレーズ〉生活に本という潤いを

〈活動内容〉①本の管理・運営(本の貸し出しなど)／②学期末ごとに古雑誌の配布／③話題の本を取り入れる。／④査考前

査考中の図書館の開館
(提案)①図書館に意見箱を設置し、利用者の意見を集めて、新しい本を取り入れ、図書館の運営に役立てる。／②目安箱にも図書館に関しての意見を入れられるようにする。／③図書館のお知らせをまとめたものを月ごとに発行する。／④新購入図書の間接や長期間本を返さない人への連絡。

〈図書館の利用について〉開館時間:昼休み12:25～13:00、放課後:～18:00(火、金のみ)／貸し出し期間は二週間です。／マンガ・雑誌は貸し出ししていません。／飲食禁止です。／入館した時は入り口の名簿に記入してください。(利用者を数えるのに使います。)

(注意)本を二週間以上返却しない人について…後日、各クラス担任に伝達します。今学期中に返却してください。→返却しなかった場合は来学期から本の貸し出しを禁止します。／本をなくした人に関しては、新書で返却してもらいます。→来年度五月のGW明けまでに図書室に持ってきて下さい。これを過ぎた場合は然るべき処置をとります。

◇広報委員会

【委員長】恒成実季

【副委員長】塩手文也

〈総目標〉岩田生を活気づける記事を書く

〈キャッチフレーズ〉inspire

〈活動内容〉①『IWATAIMES』の発行(precious times改め)・生徒会や委員会からのお知らせ。・学校行事に関する記事の掲載。・月一回を目度に発行。

〈提案〉①ドリームボックスの設置(なんでもBOX改め)・広報委員への質問、その他意見・要望など／②IWATAIMESの掲載内容・ドリームボックスに投稿された意見や質問に対する答えを掲載する。・IWATAIMESを多くの人に読んでもらうため、毎回クイズを掲載する。

◇空き缶回収委員会

【委員長】佐藤尚斗

【副委員長】藤川尚代

〈総目標〉たかが空き缶、されど空き缶

〈キャッチフレーズ〉エコローテーション

〈活動内容〉①空き缶の回収・処理・アルミ缶は水洗いし、ワークスペース檜の木に回収してもらい、スチール缶は、水洗いして集積場へ。／②ワークスペース檜の木の紹介

〈提案〉①ゴミステーションにある空き缶の回収。／②三月月に一回程度各クラスの空き缶回収委員会が各フロアと寮前のごみ箱を洗う。／③美化委員と協力してポスターを作成し、ゴミ箱やゴミ箱付近に貼る。／④執行部と協力し、ベルマークを集める。

〈お願い〉アルミ缶はつぶしてしまうとスチール缶扱いになって回収できないので、つぶさないでください。・ゴミ箱が汚れないように飲み残したままの缶をゴミ箱に捨てないでください。

1~2月 部活動の報告~

特活主任 野村哲也

高校女子バレー部

大分県新人戦

1回戦 岩田 0-2 日田三隈
自分たちの良い点、良くない点をはっきり表れた試合結果となりました。今後も良い点は伸ばし、良くない点は改善し、チーム全体のいっそうのレベルアップを図りたいと思います。(顧問:坂上)

高校サッカー部

大分県高校サッカー新人戦

2回戦 岩田 0-2 東明
かなりの善戦でしたが、ほんの少しの連携ミス、体力不足により大事なところで失点してしまいました。しかし、試合を

重ねるたびに上達が伺えるチームなので、地道に頑張っていきたいと思いません。(顧問:野村)

中学サッカー部

大分県中学校サッカー選手権大会

1回戦 岩田 3-1 山の手
2回戦 岩田 0-4 判田
成長した部分とこれからの各自の課題がより明確になった大会でした。来年度の中体連に向けて、日々の練習を一層大切にし、課題意識をもって厳しい姿勢で練習に臨んでほしいと思います。
(顧問:川元)

高校硬式テニス部

SRIXON CHALLENGE CUP

<団体リーグ戦>
岩田 0-3 日出暘谷
岩田 3-0 上野C <2位>
<2位リーグ>
岩田 1-2 情報科学
岩田 1-2 鶴崎工業
特にメンタル面での課題が浮き彫りになった試合でした。生徒も前向きに今回の結果を受け止めているようです。この結果を受けて、テニスだけではなく普段の生活から自分の改善すべき点を見つけ出し、大きく成長していけるようにがんばっていききたいと思います。
(顧問:佐伯)

カウンセリングルームより

スクールカウンセラー 江藤行大

みなさん、こんにちは。スクールカウンセラーの江藤行大です。
ついこの前正月を迎えたと思っていたらあつという間に二月も半ばに入りました。

そういえば、今話題の2012年人類滅亡説にリアリティを感じるほどにあんなにも冷たかった冬の風もようやく緩んできたようにも思えます。

二月のことをかつての人は如月と呼んでいました。それは草や木や花の芽やつぼみが張り出してくる様を表す『草木張月』から名付けられたと聞いたことがあります。

もうすぐやってくる春の季節。今年度最後の三学期もあと残り一カ月ほど。みなさんにとってこの一年はどんな一年でしたか?

春は旅立ちの季節でもあり、別れの季節でもあります。このところカウンセリングルームを訪ねてくるもうすぐ卒業を控えた6年生のみなさんもそれぞれの四月を前にいろんな思いを言葉にしてくれるようになりました。そこで今回のスクールカウンセラー通信は、『別れていくことと出会っていくことに必要なもの』についてすこしお話ししたいと思います。

ぼくたちの時間は常に過去から未来に向かって進んでいきます。

それはいつも不可逆的でだれにも等しくその時間を刻んでいきます。

そしてその時間の向こう側にある、それぞれの中にある夢や希望には無限の広がりがあります。そしてそれらはいつもまだ見えない未来の中にあるものです。

過去の出来事や体験に確かな記憶を持つその反面にぼくたちはほんの一瞬先の未来も予想することができません。そのためあまりにも目に見えない未来に不安を抱いたり、想像していた未来と目の前に現れる現実との乖離に戸惑って時には

その歩みを止めてしまうこともあります。

ただどもまだ見えない未来も突然に形を作って現れるものではなく、過去から現在、そして未来へと続く確かな連続性のあるものです。

みなさんの中には幼い弟や妹がいたり、親戚や近所の小さな子どもと触れあった経験を持つ人も多いと思います。そうした子供とたちと初めて会って触れあうときに、その子供たちがこちらに強い興味を持ちながらも一緒にいるお父さんやお母さんの背中に隠れながら何度もそこから顔を出して少しずつ近づいてくることを憶えている人も少なくないのではないのでしょうか?幼い子供たちにとって初めて出会う人は、大きな興味とともに不安を併せ持った存在であるといえます。それでもその子供の中に本来ある『近づきたい』というリビドーとその欲動の存在を意識した子供たちは何度も、お父さんやお母さんの背中を『安全基地』として、慣れながら試しながらその対象であるみなさんに近づくことを叶えていきます。こうしたことは実は、子供だけでなく大人になったぼくたちにとっても同じなのです。つまり新しい場所に向かう時に必要なものは、『自分の揺らがない安全基地』はどこにあるのかということを知っておくことなのだと思うのです。

『自分の揺らがない安全基地』。それは家族であったり、心許せる友人のいる学校だったり、時には本や記憶だったり人それぞれです。ぼくたちが今まで長い時間をかけて出会ってきた人やものや出来事は確かなものごとです。そしてそうした確かな記憶が連続性をもって不確実に思える未来にきちんとつながっていることを意識すること。それがまだ見えない未来へ旅立つための確かなお守りにな

るのだと思うのです。

ぼくたち人間は本来変わっていくことを宿命付けられた存在です。そうだからこそ未来の中にある夢や希望に憧れるのです。ただども同時に変わっていくことへの適応が、かならずしも得意ではない存在ともいえるのだと思うのです。それはもしかしたらその人がまだ自分だけの『安全基地』を見つけ出していないからかもしれません。

もしもみなさんの中に自分の今と未来に不安を感じる人がいるのなら、一度カウンセリングルームに自分の安全基地を探しに来てみませんか?

毎週水曜日の午前9時から午後6時まで。

みなさんがカウンセリングルームのドアをノックするのをいつでも待っています。

~卒業生の皆さんへ~

新しい場所に向かっていくこと。そして今まで知らなかった人やものや出来事に出会っていくこと。

その中にはきっとみなさんがいつも探している未来が

みなさんのことを大きく手を広げて待っているとおもいます。

ある人には中学一年生からの六年間、ある人には高校一年生からの三年間。

これから放射状に広がるそれぞれの未来に向かうみなさんにとって岩田学園での時間は、きっとひとり一人のいつも揺らがない“根っこ”になっていくのではないかと思います。ぼく自身もそうでした。

卒業生のみなさん、だからみなさんは自分の中にある勇気をもって大きな海に向けて旅立つことができるはずです。頑張ってくださいね。

いつも応援しています。

生徒指導部より

生徒指導主任 楠田克彦

先月号でお知らせしました大分県警からの「まもめーる」(大分・別府)の1, 2月分の内容を以下に掲載いたしました。このように非常に多くの被害が出ております。普段より登下校時には気をつけるよう指導しておりますが、ご家庭でも登下校時の道順の確認(暗がりなどの危険箇所はないか)、できるだけ集団での行動、もし遭遇した場合はその場で110番することなど、ご注意のほどお願いいたします。

「1月14日午前7時50分ころ、大分市寺崎町の路上で、登校途中の女子中学生が車に乗った男から写真を撮られる事案が発生しました。男の特徴:メガネ使用、カメラ所持、黒色の車両。」

「1月17日午後8時ころ、大分市坂ノ市で下半身を露出した男が出ました。男の特徴:年齢20~30歳位、やせ型、ボサボサの茶髪、赤色ジャンパー、青色ズボン着用。」

「1月17日午前7時15分ころ、大分市皆春地区において、下半身を露出した男性が出ました。男性の特徴:年齢30歳位、中肉、黒色の短髪、黒っぽいダウンジャケット、ジーパン着用。」

「1月18日午後8時45分ころ、大分市森地区に

おいて、下半身を露出した男性が出ました。男性の特徴:年齢10代後半から20代前半位、身長160cm位、やせ型、黒髪で後ろ髪が長く、髪をワックスで立てた感じ、色白、黒縁眼鏡、緑色っぽいジャンパー、濃い緑色のズボン着用。」

「1月24日(月)午後7時40分ころ、大分市葛木の路上で、帰宅中の女子学生が、後ろから近づいてきた男から体を触られる事案が発生しました。女子学生に怪我はありませんでした。男の特徴:身長170cm位、肥満、黒っぽいダウンジャケット、ジーパン、手袋着用。」

「1月27日午後5時45分ころ、大分市明野高尾の路上で、女子高校生が徒歩で帰宅中、後ろから近づいてきた男からスカートをめくられる事案が発生しました。男の特徴:年齢30歳位、身長160cm位、中肉、ロングTシャツ、Gパン着用。」

「1月27日午後3時30分ころ、別府市鶴見の路上を女子児童が徒歩で帰宅中、男から「一緒に行こう。」と声を掛けられる事案が発生しました。児童は、走って逃げて無事でした。男の特徴:年齢40歳位、身長170センチ位、中肉、黒色のジャージ上下、黒色帽子着用。」

「1月30日午後9時35分ころ、大分市東大道の路上で、帰宅中の女性が、後方から近づいてきた男に体を触られる事案が発生しました。男の特徴:身長165cm位、やせ型、黒色短髪、焦げ茶のダウンジャケット、黒色スラックス、黒っぽいバッグ所持。」

「2月3日午後4時ころ、別府市東荘園町で、市道を帰宅中の女子中学生が、男2人から声を掛けられ突き飛ばされる事案が発生しました。男の特徴:年齢高校生~20歳位(2人とも)、1人は身長160cm位、黒っぽい上着、1人は身長170cm位、中肉中背、短髪、黒いジャケット、白いシャツ。」

「2月4日午後8時ころ、別府市荘園の路上で、30歳代の女性が後方から小走りで近づいてきた男に体を触られる事案が発生しました。男の特徴:20歳位、身長170cm位、中肉、パーカー付き黒色スウェット上下、白色スニーカー。」

「2月17日(木)午後4時ころ、大分市乙津町において、歩いて帰宅中の女子児童に対して、下半身を露出する男性が出ました。男性の特徴:年齢50歳位、身長160cm位、中肉、黒色ニット帽、水色のジャージ上着、灰色のズボン着用。」

ほけんしつから

養護教諭 野村めぐみ

少しずつ寒気が弱まり温かい日も多くなりましたが、まだまだインフルエンザ・風邪の流行は続いています。今年度はインフルエンザワクチンを接種しているお子さまがインフルエンザに罹っているケースも多い様です。手洗いうがいの励行、咳エチケット、部屋の換気、適度な湿度の保持など、予防に努められますようお願い申し上げます。

高病原性鳥インフルエンザについて

今年度、全国各地で高病原性鳥インフルエンザが確認されています。普段の生活におかれまして、以下のことに充分留意されますようお願い

申し上げます。

- ①野鳥になるべく近づかないこと。
- ②野鳥に近づいた場合・触れた場合にはすぐに手指を十分に洗い、うがいをすること。
- ③死亡した野鳥を発見した場合には、**保健所**または**各市町村役場**に連絡すること。
- ④鳥や動物を飼育している場合については、それらが野鳥と接触しないようにすること。放し飼いは行わない様にすると共に野鳥の侵入や糞尿の落下などを防止すること。

鳥インフルエンザウィルスについて

- 鳥インフルエンザウィルスは酸に弱く、胃酸

で不活化されると考えられること。

- 通常の加熱調理で容易に死滅するので、加熱すると安全であること。
- 人の細胞に入り込むための受容体は、鳥のものとは異なること。
- 高病原性鳥インフルエンザの感染鳥の肉や卵を摂取しても人に感染したという報告はありません。
- 死骸に接触するなどして大量のウィルスが体内に入ってしまった場合に、ごくまれに感染することがあると言われてはいますが、通常の生活で感染する可能性はきわめて低いと考えられています。

関係機関リンク

- 1 大分県家畜衛生飼料室
<http://www.pref.oita.jp/soshiki/15480/>
- 2 農林水産省「鳥インフルエンザに関する情報」
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>
- 3 動物衛生研究所「高病原性鳥インフルエンザ関連情報」
http://www.niah.affrc.go.jp/disease/poultry/tori_influenza.html
- 4 厚生労働省「鳥インフルエンザに関する情報」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekka-kansenshou02/index.html>
- 5 国立感染症研究所感染症情報センター「高病原性鳥インフルエンザ」
http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/index.html
- 6 食品安全委員会「鳥インフルエンザについて」
http://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_influenza_201010.pdf

中1・高3のみなさん!

3/31までにMR7クチン

(麻しん・風しん)を受けましょう!

中1・高3でMR7クチンを受けていない人はぜひ受けてください。

麻しんは感染力が強く、罹患すると1000人に1人の割合で命を落とすと言われています。唯一の予防は2回の予防接種です。

就職や進学に影響することもあります。特に医療・福祉・教育・保育関係などの職業に進む人には自らが感染源にならないよう免疫を持っていることが求められます。

費用はお住まいの市町村が負担しますので、3/31までは無料で受けることができます。受けていない人はこの機会にぜひワクチン接種されることをお勧め致します。

立春を過ぎたとはいえ、まだ寒い日が続きます。体調を崩す生徒も増えていきます。今年度最後の学年末考査も近づいてきました。十分に健康管理にお気をつけ下さい。

来年度中学入学予定者は89名

1月30日(土)に岩田中学入学者説明会が本校で行われました。来年度の岩田中学の入学予定者は89名です。総受験者は昨年と比べ大幅に増え282名(昨年241名)でしたが、合格者の数を昨年より6名少ない170名としました。これは昨年に引き続き合格ラインを引き上げたためです。本校は建学の精神である「少数精鋭主義」へ立ち戻るべきという声を今年度入試も反映させた結果となりました。入学予定者には例年どおりアンケート調査を実施いたしました。本校に入学しようと思った理由で最も多いのは「本人の意志(89%)」、「保護者の勧め(43%)」でした。

「本人の意志」はほぼ例年どおりでしたが、「保護者の勧め」が半数近くになりました。これは保護者の皆さんの本校への信頼性を示す結果だと受け止めています。

また、本校を選んだ理由としては「本校の教育方針(63%)」「授業や行事の内容(57%)」。本校の何に期待しているかでは「学力の向上」が93%で例年どおりトップでした。入学して何が心配かは「授業についていけるか(72%)」は例年並みでしたが、「友だち関係(53%)」5年前は36%でしたが年々増えてきました。これも世相を反映しているのかもしれませんが、なお、高校APU立命館コースは18名(うち内進生11名)が入学を予定しています。(教頭 柳井)



(写真は昨年の卒業式)

第23回岩田高等学校卒業証書授与式のご案内

早いもので今年も卒業式の季節となりました。今年の中高一貫校がはじまり23回目の卒業式となります。卒業生の保護者の皆さんはご臨席下さいますようお願いいたします。

日時：3月1日(火)午前10時より

場所：本校体育館

(上履きをご持参下さい)

出席者：卒業生(23回生)、職員、在校生(高2全員、他の学年は各クラスのルーム長・副ルーム長)、保護者
来賓：是永 駿(これなが しゅん)様
APU立命館アジア太平洋大学学長
佐藤拓郎(さとう たくろう)様
同窓会「樟友会」代表(弁護士、8回生)

学園だよりも掲載

ホームページをご覧ください。

<http://www.iwata.ed.jp/>

岩田学園総務部広報課

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校